



裁判員等経験者との意見交換会 開催概要

裁判員経験者からいただいた御意見・御感想を一部紹介いたします。

裁判 裁判に参加した全般的な感想

- とても貴重な体験ができた。もし機会があれば、また参加したいと思う。
- 参加するに当たって、子供の行事と期日の調整に困った。結果的に、参加してよい経験になったと今は思えるが、その時は非常に悩んだ。私的な予定も未確定なことが多いので、辞退を希望する時期について、もっと広く選択肢があればよい思った。
- 事件の内容について、モニター映像や、分かりやすく整理された資料を使って、丁寧に説明してもらったので、安心して参加できたし、忌憚なくいろいろな意見を言うことができた。
- 大人になって、こんなに真剣に意見をぶつけ合うことはない。裁判員同士も親密になり、短い期間だったが、よい経験をさせてもらった。
- 最初は緊張していたが、裁判官が話しやすい雰囲気を作ってくれたので、徐々に緊張がほぐれた。また、裁判官は、裁判員みんなの意見を上手に引き出してくれた。
- 公判期日が多いのではないかと考えていたが、約1か月があっという間に過ぎた。審理は、非常にスムーズだったと思う。
- 本当に自分たちで判決をしてもいいのかという不安は、評議を重ねていくうちに無くなっていった。裁判官には、判決が出るまでのプロセスを大事にもらえた。
- 法壇に座ったときに初めて、裁判員として参加する実感がわいた。

富山地方裁判所



開催日 令和5年6月29日（木）
出席者 裁判官3名
検察官2名
弁護士2名
裁判員等経験者7名



裁判 選任手続について

- 一部専門用語が分からず、その場では理解できないことがあった。もう少し分かりやすい言葉で説明してもらえたらよかった。
- 手続きの流れやスケジュールが分かりにくかった。最初の方で進行についての詳細なアナウンスがあればよいと思った。



法廷での審理や評議の進め方について

- 証拠などの資料が、法廷のモニターに映像で映され、文字で見るとより分かりやすかった。
- 公判でメモを取っていなかったため、評議の時に思い出すのに苦労した。緊張していることもあり、どのタイミングでメモを取ればよいのか分からなかった。
- 弁護人の資料は簡潔にまとめられていて分かりやすかった。弁護人の仕事は大変だと思った。
- 家に資料を持ち帰ることができないのは仕方がないと思うが、資料を読み込む時間がもっとあれば、被告人に質問ができたかもしれない。
- コロナ禍だったため、楕円テーブルではなく、大きな部屋で評議を行った。人の間隔を広く取っており、ほかの人の声が聞きづらかった。席を変えてもらい、補聴器を付けて臨んだ。
- 検察官の資料は、情報量が多いが、重要なところがすぐに分かって見やすかった。被告人の意見の変遷や、そのポイントがよく分かった。



これから裁判員になる方へのメッセージ

- 誰が見ても分かるように資料は整理されているし、分からないことは裁判官が丁寧に説明してくれる。裁判官、裁判員、補充裁判員の12人がワンチームで臨むので、一人一人の負担は少ない。身構えずに参加してほしい。
- 立場や職業などに関係なくみんな意見が言えるし、耳を傾けてもらえる。
- 若者は多様性に満ちている。ぜひ参加してよい経験ができた、成長できたというメッセージを発して行ってほしい。
- 自分の子供や職場の後輩に対し、もし選ばれる機会があったら、断らずにぜひ参加してほしいと伝えた。とてもよい経験になる。
- 学生の方は、機会があったら、法廷見学や模擬裁判に参加してほしい。裁判所を身近に感じることができるし、裁判員裁判もリアルに感じることができると思う。

御参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。
貴重な御意見、御感想を今後の運営に生かしていきたいと思っております。

